

住みよい木津川市・相楽郡を
みなさまとともに！

よしかず

京都府議会議員 ふでやす祥一 府政報告

筆保 祥一 通信

第4号 (2024-25 年末年始号)

ごあいさつ

めっきり冬の空気に包まれてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

府議会では今般12月定例会が終了しました。12月定例会では、会派を代表して行う「代表質問」の大役を初めて仰

せつかりました。

詳細は次号でお伝えする予定ですが、議員就任当初から継続的に確認している事業や、これまでの経験を踏まえた提言などもさせていただきました。

この第4号では、決算議会とも呼ばれる9月定例会 決算特別委員会での私の質問の概要を中心にお伝えし、その間に開催された各委員会の質問内容をご報告いたします。

今後も引き続き、地元木津川市・相楽郡の行政課題や、本府の行政運営の更なる効率化・適正化に向け順次提案を行っていき、諸課題解決に向け邁進してまいりますので、今後とも何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

京都府議会議員 筆保 祥一

次号予告

(3月発行予定)

12月定例会
代表質問の

詳細をお伝えします!!

—代表質問の概要—

1. 本府の財政運営について
(1) ふるさと納税について
(2) 予算執行管理について
(3) 府有資産の利活用について
2. 障害者雇用について
3. 危機管理対応について
4. その他
(国道24号城陽井手木津川BP
開通に伴う新たな渋滞発生区
間への対策について)

所属会派

国民民主党・日本維新の会
京都府議会議員団

府議会の議員定数は60名、
当会派は12名となり、
第2会派となっています。



所属委員会

・危機管理・健康福祉常任委員会

危機管理部・健康福祉部の所管及びそれに関連する事項について報告を受け、議案や請願等の審査や所管事項の質問を行います。

魅力ある地域づくりに関する特別委員会

担い手不足や自然災害の発生により浮き彫りとなった地域社会の諸課題を解決し魅力ある地域づくりを目指す施策について調査・研究します。

ふでやす 祥一 プロフィール

- 1972年 岡山県津山市生まれ。
岡山県立津山東高等学校、
日本大学理工学部交通土木工学科卒業。
- 1995年 大手ゼネコンに入社。
阪神・淡路大震災復興事業に従事する。
- 1999年 建設省・国土交通省にて河川砂防技術者として、
主に琵琶湖・淀川水系の河川整備計画、土石流
対策技術指針作成ならびにダム計画に従事する。
- 2004年 神戸市役所に行政職として入庁。
保健福祉・環境・交通行政の財務関係に従事。
衆議院議員公設第一秘書として、京都府第6選
挙区にて従事。
- 2015年 京都府議会議員選挙に木津川市・相楽郡選挙区
より立候補し、初当選。
- 2023年 任期1年目は政策環境建設常任委員会、文化力
と価値創造に関する特別委員会、予算特別委員
会に所属した。

民間企業、国、地方行政の
主要部署を歴任。
国土計画、防災・減災対策をはじめ、
福祉行政全般・医療・環境・交通行政、
財務関係に精通。



「誰の為の政治なのか」を常に心の根底に据え、

これまでの経験から培われたノウハウと持ち前の行動力をフル稼働させ、
議員活動に邁進してまいります!!

令和6年9月議会

各コーナー右上の二次元コードから京都府議会録画配信をご覧ください。
() 内が私の質問時間となります。ぜひご覧ください!!

決算特別委員会部局別書面審査（令和5年度決算）

10月7日

総務部

(10:49 ~ 20:22)



府税の不納欠損処理・地方税機構

大幅な不納欠損額の増加があった経緯、不納欠損処理のスキームを質問しました。税収納の事務を担う地方税機構への府職員派遣人数や、最前線でさまざまなケースに対応されている職員へのフォローについても改めて要望しました。

筆Check!! 不納欠損とは？

既に調定した歳入を、法規の理由により収納ができなくなった場合、行政がこれを欠損扱いとする処分。単に徴収不能だけで安易に行うことはできません。

10月8日

知事直轄組織

(1:47:35 ~ 1:56:55)



1. 障害者雇用の法定雇用率

今年度の知事部局の法定雇用率の確認と勤務先として選ばれるための取り組みを行うよう、要望しました。

2. 京都の未来創造 PR 事業

同事業の3,000万円の執行内容を問いました。2,500万円は朝日放送、500万円はBSイレブンでのPR動画作成費用との説明を受け…。

筆Check!! PR費用の妥当性

PR事業については、令和4年度からの事業ですが、今後は費用対効果の検証も必要です。

10月8日

教育委員会

(2:09:00 ~ 2:40:26)



1. 予算決算の乖離について

予算800万円に対し、決算が600万円弱の事業について、予算編成時点での妥当性を問いました。

2. 特別支援学校教育等充実事業

特別支援学校高等部卒業者の就職率目標30%の設定根拠を問いました。

3. 被災児童生徒就学等支援事業

いつ発生するか分からない災害について行う予算編成方法を確認しました。予算編成時に、被災し本府に移られてきている児童・生徒についての計上を行っているとの回答を得て心のケア等も含め対応するよう、話をさせていただきました。

10月9日

文化生活部

(2:48:38 ~ 3:00:55)



1. きょうと地域創生活動推進事業

府内460団体から構成される「きょうと地域創生府民会議」が開催する府民交流フェスタ等への補助1,000万円について、評価の高いイベントと聞いており、必要経費はきちんと予算要求し、今後も事業を継続してほしいと話しました。

2. 犯罪被害者等支援総合対策事業

令和5年度からの新規事業で、年度比較が出来ないが、「必要とされる方が、必要な時に、きちんと利用できる」事業になっていくよう要望しました。

10月10日

健康福祉部

(35:48 ~ 51:21)



手話通訳士・要約筆記者の現状

障害者自立支援での（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会への委託事業である手話通訳士・要約筆記者養成について、受講者数に対しての合格者数の低さと登録者数、派遣される頻度、また、その法的根拠並びに行政の責務を問いました。

筆Check!! 意思疎通支援者の計画的な養成を！

障害者認定されない加齢による難聴者の増加や障害者の社会参画促進に向け、府が主導的に行っていくことも必要です。

10月11日

警察本部

(1:40:41 ~ 1:51:04)



警察職員給与等について

府警の給与平均は政令指定都市がある近畿エリアの府県で最下位となっています。給与水準は個々の職員のモチベーションにも大きく影響を与えることから改善を訴えました。また適正な時間外勤務の執行（サービス残業撲滅）、男性職員の育児休暇取得状況などを確認、また、職員募集に係る広報活動について、他の都道府県警で行っている福利厚生面でのPR状況を踏まえ、優秀な人材確保を行う広報活動の実施を問いました。

10月11日

商工労働観光部

(2:13:46 ~ 2:23:56)



1. (部所管の) 障害者就労支援事業

精神障害のある方を雇用する企業人事担当者の相談窓口を京都ジョブパークに設置していますが、その利用状況や不足がないのかを問いました。

2. 障害者雇用サポート強化事業

府内8カ所の障害者就業・生活支援センターでの対象者人数、きょうとジョブパークはあとふるジョブカフェへの相談人数・何人の方が就職に繋がったのかを確認しました。

筆Check!! 民間企業の障害者雇用率の達成に向けて、今後も推進を！

10月16日

危機管理部

(36:09 ~ 44:43)



大規模水害等広域避難体制構築費

この費目は令和5年度には予算計上されていませんが、令和4・6年度には計上されています。この内容について確認しました。6年度は木津川・宇治川区域において災害タイムラインを作成し、市町村と連携して広域避難計画の策定を行うとのことで迅速に対応するよう要望しました。

筆Check!! 全域の早期計画策定を

災害は待たずにやって来ます。市町村との連携も計画も策定することで、早期に問題点の洗い出しも行え必要な対応につながります。

10月17日

総合政策環境部

【環境】(20:56 ~ 31:06)



不法投棄等防止対策事業費

府の人員体制や不法投棄事案についての過去推移、摘発件数などを確認しました。警察との連携も非常に重要で、潜在的な不法投棄も存在する中、摘発の難しさはありますが、もっと踏み込んだ対応・指導が必要です。また、歳入の面でも、産業廃棄物処理代執行徴収金の未収が8,000万円超あり、徴収に向けての対応などを問いました。

筆Check!! 衛星画像も利用し、人里離れたエリアも監視するとともに逃げ得にならない対策を！

10月17日



建設交通部

(2:32:42 ~ 2:43:07)

1. 道路新設改良受託事業費

他管理者（市町村）と調整して行う道路・橋梁の付け替え経費のため、予算決算の乖離が出ています。適正執行を。

2. 緊急自然災害防止対策事業

こちら予算決算額の乖離が出ており質問しました。地元調整の遅れから、浸水対策工事の予定が遅くなったことが原因とのことではありますが、綿密な調整を依頼しました。

3. 令和5年度の入札不調・不落・繰越について

入札不調・不落の原因と議会定例会のたび上程される予算繰越について質問しました。

10月18日



農林水産部

(2:23:34 ~ 2:38:17)

1. 盛土対策総合推進事業

農林水産部所管の森林法に基づく「治山」と建設交通部所管の砂防法に基づく「砂防」との技術的連携や計画策定の上でのすり合わせをどう行っているのか問い質しました。

2. 京都府立林業大学校について

将来、不足するであろう担い手を、どのように計画的に増やしていこうと考えているのか、その計画に見合った入学者、卒業者数なのかの確認と「府内で従事する林業の担い手」になっていただく取り組みについて問い質しました。

筆の視点



筆保祥一 委員

単年度のみの収支に着目するだけではなく、過去複数年の予算・決算の動きも追うことで浮かび上がった問題点や、事業の妥当性に主眼を置き審議させていただきました。

事業内容をよく見てみますと、とてもユニークな取り組みも多く、工夫されたうえでの予算執行をされているものも多かったのですが、もっと広く府民のみなさんに事業の有益性を伝えることも必要であると考えます。そのうえで、適正な予算要求・そして執行を心がけていただくため、今後も是々非々の観点から、各事業を注視していきたいと思っております。

危機管理・健康福祉常任委員会

8月20日 (1:26:37 ~ 1:30:45)

— 8月例会中委員会 —



新しい福祉の展開について

参考人として社会福祉法人 みねやま福祉会の櫛田常務理事をお迎えし、複合福祉施設の運営などのご説明をいただきました。私の質問内容としては、共生型サービスの指定を受ければ、障害者の方が65歳になった時点で介護保険サービスに移行することから、このサービスについては障害福祉サービスのままでの対応を行うのか等の質問をさせていただきました。



9月27日 (15:39 ~ 25:58)

— 所管事項（健康福祉部） —



各市町村が行う要介護認定業務の遅延状況について

要介護認定については、法律上30日以内に処理することと規定されているが2カ月かかったりすることもあると地元で聞く。介護保険法第5条第2項にあるとおり、府としてどのように各市町村に関わっているかを尋ねました。

府下市町村の平均処理日数は42.6日、研修等を行っているという回答を受けましたが、行政界で認定に至る日数に大幅な違いが出ることがないよう、令和17年の推計では要介護者が19万6千人とされる状況のなかで、府としてプラスαで各市町村への支援を考えていくべきであると提言しました。

9月26日 (26:40 ~ 36:40)

— 付託議案等質疑 —



府立看護学校建替に伴う債務負担行為について

府では北部地域の看護師確保のため、府立看護学校の機能拡充を含めた建替を地元主導による整備により地元が設立したSPC（特別目的会社）により進めています。

SPCが建てた建物を府が買い取る方式のため、債務負担行為という手法で予算組みを行っています。令和6年3月補正予算で37億円の債務負担行為が議決されましたが、設計の段階で軟弱地盤であるのが判明したこと、材料費の高騰等で9億8千万の債務負担行為が追加上程されました。

建替を行うこと、また整備目的の必要性については何ら異論を唱えるものではありませんが、適正な予算執行の観点から今後も注意深く見守りたいと思っております。

9月30日 (45:51 ~ 57:11)

— 所管事項（危機管理部） —



BCP（事業継続計画）の策定状況について

府内企業での策定状況は令和6年6月現在のデータで府内228社のうち45社が策定済み（約20%）。

まだ認知度も低い状況の中、府としてPRも含めた支援を要望しました。

BCPの早期策定支援を!!



各市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターの立地状況について

令和6年3月に行われた予算特別委員会においても質問しましたが、その後、立地状況の確認などを府として行っているのかを確認しました。現在、関係部局に照会中でそのうえで調査・検討をしていくと回答を得ました。

（この質問については、12月議会代表質問において、改めて確認しました。詳しくは次号でお知らせします！）

魅力ある地域づくりに関する特別委員会

10月1日(1:57:07~2:18:15)

—所管事項—「地域商社による地域の魅力の強化・再発見について」

参考人として、一般社団法人京丹波町観光協会（地域商社 京丹波）山下事務局長様、京丹波町産業建設部商工観光課長兼プロモーション戦略室長の片山様をお迎えし、農業のコンパクト化流通、第3販路としての地域商社のご説明をいただきました。
JA（農協）等、既存権益とぶつからない新たな販路として地域商社を設立。
地域商社として運営することで、袋詰めなどの農家のみなさんの手間を省くことができること、また、規格外の農作物の新たな販路を開拓する積極的な農家経営の礎にもなっており、非常に参考となりました。



筆 TOPICS

府関連の地域ニュースをお届けします!!

京都府警経済安全保障センターが けいはんなプラザにオープン!!

10月31日、けいはんなプラザにおいて、京都府警経済安全保障センターの開所式が行われ、来賓として参加、施設を見学させていただきました。

企業や研究機関の持つ先端技術をねらったサイバー攻撃や技術の流出は年々リスクが高まっており、学研都市で進められている情報通信や生命科学などの先端的な研究開発を守るために設置されました。

府南部において、このような施設が設けられたことは、非常に意義があるものと考えます。

運営は11月1日から始まり、経済安全保障を専門とする警察本部の外事課と、サイバー攻撃対策課の捜査員などが常駐し、府南部のおよそ230の企業や研究機関を対象に、訪問や講演を行い、事前対策などを支援する予定です。



祝

和東町・宇治田原町間がより近く、安全に!
令和7年2月24日、鷲峰山トンネル開通!

<<事業の概要>>

路線名：主要地方道
宇治木屋線
区 間：宇治田原町南
～和東町別所
事業着手：平成 29 年
供用開始日：
令和7年2月24日15時
延長：3.6km
(うちトンネル区間 2,953m)
幅 員：7.5m
(トンネル部 7.0m)



平成 29 年より、和東町と宇治田原町にまたがる犬打峠において整備が進められてきた鷲峰山トンネルを含むバイパス事業が、来たる令和7年2月24日に供用開始を決定。

犬打峠は道路幅も狭く、急カーブも連続しており、車両同士の離合も困難な交通の難所であり、また大雨などによる災害で通行止めとなることもしばしば。

この度、この鷲峰山トンネルが開通することにより、走行性と交通の安全性が大幅に向上。和東町、宇治田原町間の所要時間が約15分短縮され、大雨等の異常気象時にも常時通行可能となります。さらに、今後、開通が予定されている新名神高速道路へのアクセス性も向上することにより、交流人口の拡大に伴う地域産業の振興や地域活性化についても、大きく貢献することに期待しております。

筆 府政相談 府政 ミニ報告会 随時おこなっています!

木津川市役所そばに事務所を構え、府政のみならず地域のお困りごとの相談の受付や、「走る!よろず相談所筆やん号」での出張相談や、少人数でのミニ府政報告会も随時開催しております。府政といいますと、みなさまには身近なものではないように思われるかもしれませんが、福祉・道路・河川・地域交通などなど、お気軽に下記事務所にご連絡を頂戴できたらと思います。(日程調整をさせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。)



↑ミニ府政報告会の様子



↑事務所は2階になります。お気軽にお立ち寄りください!



←このステッカーの車をご覧になられたら、お気軽にお声がけください!

事務所のご案内

木津警察署
木津川市役所
ハッティングセンター木津川
ふでやす祥一事務所
JR木津駅 西側出口より徒歩6分です
京都山城総合医療センター
奈良・京奈和自動車道 木津IC方面
京奈和自動車道 山田川IC方面

発行 京都府議会議員 ふでやす 祥一

京都府議会議員 ふでやす 祥一事務所
〒619-0214
京都府木津川市木津南垣外 118-3 井関ビル 2F
☎0774-66-7733 ☎0774-66-7732
✉yoshikazu.fudeyasu@gmail.com